令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　650

事務事業名称		給水装置工事事業者・下水道排水設備指定工事店等管理業務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　上下水道総務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　2020(R2)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市水道事業給水条例、枚方市水道事業指定給水装置工事事業者規程、枚方市下水道条例、枚方市下水道排水設備指定工事店規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	給水・排水機能が適正に保持され、健康で安全かつ快適な生活・事業が営まれている状態。						
	対象者(受益者)	給水装置工事・下水道排水設備工事等を行う事業者/給水装置工事・下水道排水設備工事等を受ける市民・市内事業者						
	現状・課題	関係条例・規程等に基づき、適正かつ円滑に工事が施工される必要がある。						
	事業の概要	指定給水装置工事事業者業務・・・水道事業者の給水区域内における給水装置工事について、適正に施工できると認められる事業者を指定する制度。 下水道排水設備指定工事店業務・・・下水道供用開始区域内における宅内排水設備工事について、適正に施工できると認められる事業者を指定する制度。						
	年間の主な事務	・給水装置工事事業者及び下水道排水設備指定工事店の指定申請(新規・変更等)手続き(月平均5件) ・給水装置工事事業者の指定申請(更新)手続き(例年8月～9月) ・下水道排水設備指定工事店の指定申請(更新)手続き(例年2月～5月)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.00人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	15,376	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		15,376	—	—	—		
	物件費計		15	—	—	—	21	71.4%
歳出計			15,391	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		1,200	—	—	—	565	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			1,200	—	—	—	565	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	—	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 給水装置工事事業者の新規申請に対して、適正に審査し、速やかに情報を反映させる。(新規申請受理件数)	件	27 件	ー 件	ー 件	ー 件
② 給水装置工事事業者の更新申請に対して、適正に審査し、速やかに情報を反映させる。(更新申請受理件数)	件	122 件	ー 件	ー 件	ー 件
③ 下水道排水設備指定工事店の新規申請に対して、適正に審査し、速やかに情報を反映させる。(新規申請受理件数)	件	15 件	ー 件	ー 件	ー 件
④ 下水道排水設備指定工事店の更新申請に対して、適正に審査し、速やかに情報を反映させる。(更新申請受理件数)	件	68 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①							
説明							
指標		R6	R7	R8	R9	単位	
	目標						
	実績						
	算出方法						

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①							
説明							
指標		R6	R7	R8	R9	単位	
	目標						
	実績						
	算出方法						

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	工事事業者の新規指定や指定の更新、指定事項の変更等の申請に対して、適正に審査し、最新の工事事業者情報を市ホームページで周知することができた。 また、LoGoフォーム等を活用したオンライン化の推進に取り組んだ。
R7 年度	
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度 取組方針	適正に審査を行い、引き続き、周知を行っていく。	R7年度 方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
	現状維持	現状維持	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　685

事務事業名称	上下水道局広報活動事業							
担当部署(R7年度機構)	部: 上下水道部		課: 上下水道総務課		区分	任意的事業		
基本項目 総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分		
基本項目 総合計画 施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます				性質	交通・都市基盤		
市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
				—				
事業期間	事業開始： 不明		～	事業終了予定： 未定(継続実施含む)				
根拠法令等	決裁							
関係附属機関等	該当なし							
関係補助金等	該当なし			補助金性質: —				

詳細項目 事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	充実した情報発信・周知により必要な情報を入手することができている状態。
対象者(受益者)	水道・下水道事業の取り組みや各種お知らせ・イベントの案内等、情報を収集する又は受ける市民等
現状・課題	水道・下水道事業の取り組みや各種お知らせ・イベントの案内等、情報を受ける機会がない。
事業の概要	お客さまに、水道水のおいしさや安全性、上下水道事業の役割、取り組みについてPRし、上下水道に対する理解を深めていただくとともに、企業経営の透明性を高め、円滑な事業運営を図る。
年間の主な事務	・トンボの生態観察とヤゴ放流の集い(例年5月) ・市内小学校等への出前授業(例年5月) ・はたらくくるまのイベントに出展(例年5月) ・広報ひらかた等で情報発信「水まわりの工事契約は慎重に」(例年5月) ・広報ひらかた等で情報発信 「6月1日～7日は水道週間」(例年6月) ・枚方まつりのイベントに出展(例年9月) ・広報ひらかた等で情報発信 「9月10日は下水道週間」(例年9月) ・ふれあい土木展のイベントに出展(例年11月) ・広報ひらかた等で情報発信 「水道管にも冬支度を」(例年1月) ・情報誌「Water通信」の配布(例年3月)

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.00人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳		正職員、再任用、任期付職員	7,688	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		7,688	—	—	—		
	物件費計		808	—	—	—	1,471	54.9%
歳出計			8,496	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			808	—	—	—	1,471	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① イベントへの出展回数	回	9 回	ー 回	ー 回	ー 回
② 広報ひらかたへの掲載回数	回	8 回	ー 回	ー 回	ー 回
③ SNSの発信回数	回	5 回	ー 回	ー 回	ー 回
④ 出前授業等の実施回数	回	2 回	ー 回	ー 回	ー 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明	はたらくくるまのイベントに参加する。					
指標	はたらくくるまの参加者数					
	R6	R7	R8	R9	単位	
目標	150	170	200	220	人	
実績	400	—	—	—	人	
算出方法	上下水道局PRイベントへの参加者					

ロジックモデル

アウトプット②

説明	枚方まつりのイベントに参加する。				
指標	枚方まつり(上下水道局ブース)の参加者数				
R6	R7	R8	R9	単位	
目標	300	350	400	450	人
実績	500	—	—	—	人
算出方法	上下水道局PRイベントへの参加者				

ロジックモデル

アウトプット③

説明	ひこ防'zのイベントに参加する。				
指標	ひこ防'zの参加者数				
R6	R7	R8	R9	単位	
目標	150	200	250	300	人
実績	150	—	—	—	人
算出方法	上下水道局PRイベントへの参加者				

ロジックモデル

アウトプット④

説明	上下水道事業に関する知りたい情報を簡単に入手できる。				
指標	上下水道局ホームページへのアクセス数				
R6	R7	R8	R9	単位	
目標	ー	31,000	31,500	32,000	回
実績	ー	—	—	—	回
算出方法	表示回数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	充実した情報発信・周知により、市民等が上下水道事業に関する必要な情報を入手することができ、理解・関心が深まる。				
指標	参加者等の満足度(アンケート実施)				
R6	R7	R8	R9	単位	
目標	80	80	80	80	%
実績	80	—	—	—	%
算出方法	【とても満足、満足と回答した人数/アンケート回答数×100】				

アウトカム②

説明	充実した情報発信・周知により、市民等が上下水道事業に関する必要な情報を入手することができ、理解・関心が深まる。				
指標	参加者等の満足度(アンケート実施)				
R6	R7	R8	R9	単位	
目標	80	80	80	80	%
実績	91	—	—	—	%
算出方法	【とても満足、満足と回答した人数/アンケート回答数×100】				

アウトカム③

説明	充実した情報発信・周知により、市民等が上下水道事業に関する必要な情報を入手することができ、理解・関心が深まる。				
指標	参加者等の満足度(アンケート実施)				
R6	R7	R8	R9	単位	
目標	80	80	80	80	%
実績	80	—	—	—	%
算出方法	【とても満足、満足と回答した人数/アンケート回答数×100】				

アウトカム④

説明	充実した情報発信・周知により、市民等が上下水道事業に関する必要な情報を入手することができ、満足度が高まる。				
指標	上下水道事業の情報に対する満足度				
R6	R7	R8	R9	単位	
目標	ー	80	80	80	%
実績	ー	—	—	—	%
算出方法	【上下水道事業の情報に対する満足度が高いと回答した人数/スマホアンケート回答者数×100】				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

将来の料金改定に向け、上下水道事業に係る経営情報をはじめさまざまな取り組みについて、適宜・適切に情報提供をしていく。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	出前講座や地域防災訓練、各種イベント等を通して、上下水道事業や危機管理への取り組みについて、周知することができた。
R7 年度	
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R7年度 取組方針	引き続き、出前講座や地域防災訓練、各種イベント等を通じて、上下水道事業や危機管理への取り組みについて、周知していくとともに、今後集客率の高いイベントにも積極的に参加し、さらなる周知先の拡充を図っていく。	R7年度 方向性	拡充

参考	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
方向性の経過	現状維持	拡充	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号 810

事務事業名称		上下水道局庁舎等の維持管理業務						
担当部署(R7年度機構)		部: 上下水道部		課: 上下水道総務課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始： 不明			～	事業終了予定： 未定(継続実施含む)		
	根拠法令等	消防法、上下水道局防火管理規程、労働安全衛生法、大気汚染防止法施行規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	来庁される市民や事業者、また、職員が安全・快適に利用できる環境が整備された庁舎及び管理棟等が実現されている状態。						
	対象者(受益者)	庁舎等に来庁される市民や事業者、業務を執行する職員						
	現状・課題	上下水道局の庁舎等を利用する者がより安全で快適に利用できるよう、維持管理業務を効果的に実施する必要がある。						
	事業の概要	＜管理する主な施設の概要＞ ・上下水道局(中宮浄水場)庁舎 3階建て(延床面積 2,066㎡) 上下水道財務課(営業料金係、窓口業務等委託業者含む)、上水道管理課、下水道管理課の執務場所。 ・管理棟 4階建て(延床面積 3,759.74㎡) 上下水道総務課、上下水道政策課、上下水道財務課(財務係)、浄水課、上水道工務課、下水道整備課(上水道保全課及び下水道施設維持課を除く)の執務場所のほか、水処理に必要な水質試験室、中央操作室を設置。 ＜事業内容＞ 中宮浄水場にある上下水道局庁舎等の維持管理のため、清掃業務・測定業務(空気環境・窒素酸化物に係る煤煙排出量)の委託等を行う.						
	年間の主な事務	・庁舎・管理棟等の清掃(週5回) ・空気環境測定(2か月に1回) ・維持・管理のために必要な物品等の購入(適宜) ・職員が使用している机やいすの交換・管理(適宜) ・備品等の管理(年1回)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.00人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	7,688	—	—	—		
	会計年度任用職員	0	—	—	—		
	特別職非常勤	0	—	—	—		
	附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計	7,688	—	—	—		
	物件費計	48,118	—	—	—	56,463	85.2%
歳出計		55,806	—	—	—		
歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0	
	府支出金	0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	—	—	—	0	
	市債	0	—	—	—	0	
	その他	27,433	—	—	—	30,000	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		27,433	—	—	—	30,000	
一般財源(物件費充当分のみ)		20,685	—	—	—	26,463	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 必要な保守点検等を実施する。(上下水道局庁舎における空気環境測定実施回数)	回	6 回	ー 回	ー 回	ー 回
② 上下水道局内の事務執務場所から排出される産業廃棄物を収集運搬し、産業廃棄物として適正に処分を行う。(収集運搬回数)	回	13 回	ー 回	ー 回	ー 回
③ 上下水道局内の事務執務場所から排出される一般廃棄物を収集し、本市のごみ処理施設まで運搬し処理を行う。(収集運搬回数)	回	254 回	ー 回	ー 回	ー 回
④ 上下水道局庁舎等の清掃作業を実施する。(清掃作業回数)	回	261 回	ー 回	ー 回	ー 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

	アウトプット(活動が産み出した結果)	直接アウトカム(結果による変化・便益)
ロジックモデル	アウトプット①	アウトカム①
ロジックモデル	アウトプット②	アウトカム②
ロジックモデル	アウトプット③	アウトカム③
ロジックモデル	アウトプット④	アウトカム④

アウトプット①

説明	上下水道局庁舎施設が適正に維持管理されている。
指標	空気環境測定実施にあたり、結果が良好であった割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	80	80	80	80	%
実績	90	—	—	—	%
算出方法	良好箇所数/測定箇所数×100				

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—
算出方法	—				

アウトプット②

説明	上下水道局庁舎等施設が適正に維持管理されている。
指標	排出された産業廃棄物のうち、適正に処理を行うことが出来た割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	—	—	—	%
算出方法	【適正処理された量/総排出量×1】				

アウトカム②

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—
算出方法	—				

アウトプット③

説明	上下水道局庁舎等施設が適正に維持管理されている。
指標	排出された一般廃棄物のうち、適正に処理を行うことが出来た割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	—	—	—	%
算出方法	【適正処理された量/総排出量×1】				

アウトカム③

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—
算出方法	—				

アウトプット④

説明	上下水道局庁舎等施設が適正に維持管理されている。
指標	上下水道局庁舎設備維持管理に係る苦情件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0	0	0	0	件
実績	0	—	—	—	件
算出方法	上下水道局庁舎設備維持管理に係る苦情件数				

アウトカム④

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

・昭和50年に建てられた庁舎は、現在もほとんど当時のままであることから、現在の生活スタイルに馴染まない部分もあるため、市民や職員が少しでも利用しやすいように、関係課と協力して調査・検討を行っていく。また、令和9年度には新中宮浄水場施設が完成予定であるため、当該施設にどこの部署が移転するかなどを検討することで、現在の庁舎の活用方法も含めて検討していく。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	上下水道庁舎等の清掃業務、測定業務（空気環境）、産業廃棄物の搬出等の委託、維持補修を行った。
R7 年度	
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R7年度 取組方針	上下水道局庁舎等の維持管理業務を引き続き、適切に実施する。	R7年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　818

事務事業名称		上下水道局人事・労務管理事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　上下水道総務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明			～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)		
	根拠法令等	決裁、給与等に関する規程、安全衛生管理規程、被服貸与規程、職員就業規程　等						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	効率的・効果的な業務執行体制のもと、適正かつ円滑に事務が執行されている状態。						
	対象者(受益者)	上下水道局に所属する職員/上下水道事業サービスの提供を受ける市民						
	現状・課題	人事管理等業務を通じ、効率的・効果的な業務執行体制が構築される必要がある。/職員の適正配置により、効率的・効果的な執行体制が確立されている必要がある。						
	事業の概要	・人事関係(人事異動、採用、雇用、退職、休暇等)・給与関係(月例給与、各種手当の支給、社会保険関係、特別旅費の計算等) ・健康管理等関係(健康診断の実施、安全衛生委員会の運営、被服の貸与等) ・表彰関係(日水協永年勤続表彰等) ・上下水道局の執行体制の整備							
	年間の主な事務	・人事関係(人事異動、採用、雇用、退職、休暇等)の事務 ・給与関係(月例給与、各種手当の支給、社会保険関係、特別旅費の計算等)の事務 ・健康管理等関係(健康診断の実施、安全衛生委員会の運営、被服の貸与等)の事務 ・表彰関係(日水協永年勤続表彰等)の事務							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.00人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	15,376	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		15,376	—	—	—		
	物件費計		5,668	—	—	—	10,089	56.2%
歳出計			21,044	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			5,668	—	—	—	10,089	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 月例給与の事務処理	回	12 回	ー 回	ー 回	ー 回
② 健康診断の実施	回	2 回	ー 回	ー 回	ー 回
③ 安全衛生委員会の開催	回	12 回	ー 回	ー 回	ー 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	
指標	

指標	R6	R7	R8	R9	単位
目標					
実績					
算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	
指標	

指標	R6	R7	R8	R9	単位
目標					
実績					
算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	人事関係・給与関係・健康管理関係等事務について、適正に事務を執行できた。
R7 年度	
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度 取組方針	引き続き事務の効率化を図り、適正な事務執行に努める。	R7年度 方向性	現状維持

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　950

事務事業名称		上下水道総務課運営事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　上下水道総務課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	課の運営事務が円滑に進む。						
	対象者(受益者)	上下水道事業サービスの提供を受ける市民・事業者						
	現状・課題	安定した上下水道事業の運営により、上下水道事業サービスを継続的に提供される必要がある。						
	事業の概要	・課の運営事務 ・公益社団法人日本水道協会に係る事務処理、会議への参加等						
	年間の主な事務	・照会・回答(庁内・外部)のとりまとめ(毎日) ・議会関係とりまとめ(各定例月議会) ・郵便業務(毎日) ・上下水道部各課との連絡・調整(毎日) ・公益社団法人日本水道協会、大阪広域水道企業団、東部大阪水道協議会、大阪府下水道協会との連絡・調整(月1回程度)							

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	4.00人	—	—	—
再任用	1.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	36,079	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		36,079	—	—	—		
	物件費計		86,187	—	—	—	131,353	65.6%
歳出計			122,266	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		4,670	—	—	—	3,188	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			4,670	—	—	—	3,188	
一般財源(物件費充当分のみ)			81,517	—	—	—	128,165	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			―	―	―

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①		R6	R7	R8	R9	単位
説明						
指標	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①		R6	R7	R8	R9	単位
説明						
指標	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	課の運営事務について、適正かつ効率的に、また、正確かつ迅速に遂行した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	今後も引き続き、課の運営事務等について、正確かつ迅速に行う。	R7年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	―	―	―